

菅原道真公を知る唯一の天満宮 生身天満宮 (京都府南丹市園部町美園町)

生身天満宮は日本最古の天満宮で、建てられたのはもう千年以上も昔のことです。「天神さん」と親しまれる天満宮は全国に約1万2千社もあり、それらは菅原道真をお祀りしていますが、道真の生前から存在しているのはここ京都の生身天満宮だけです。これが、社名の由来といわれています。

江戸時代までは神仏習合の時代で、当時の生身天満宮は真言宗の「延命院福量寺」というお寺でした。しかし、あるとき裏山で火災が発生してしまいます。そこである女性が祈ったところ、みごとに山火事が鎮まりました。一説には、このことがきっかけで、遠州秋葉本宮の分祀（火之迦具土大神）が境内に祀られるようになったといわれています。

10月第3日曜日に行われる秋季例祭の前日には、冬季に火災が無い事を願う例祭が行われ、家庭の台所など祀るためのお札が無償で頒布されます。毎年10~15人が参列します。年間参拝客は約300~500人ほどで、秋の参拝客が多いです。また、毎月25日には、社務所が『月刊社報てんじんさん』を発行しており、生身天満宮の情報などを発信しています。

生身天満宮は、グッズやお守りにも力を入れています。境内の梅で神職が手作りしている「合格梅」は、心願成就の祈りを込めてお祓いをしており、受験生に人気です。収穫量に

左右されるため数量限定ですが、合格祈願のご祈祷やお守りを受けた人は無料でいただくことができます。また、TVや新聞でも紹介された仕事のお守り「天晴れる」は、天まで晴れわたる爽快な人生を送れるようにとの願いが込められたお守りです。「とんぼ玉 合格お守り」は、手作りのとんぼ玉にちりめん製の紐がついており、色柄や形が全て違います。世界にひとつだけのお守りで、こちらも多くのお守りから高い人気を集めています。(越野)



岡山県には秋葉神社がたくさん！ 秋葉神社 (岡山県総社市) ほか



岡山県総社市井尻野にある秋葉神社は、宝暦11年(1761年)7月、火の神である遠州秋葉大権現より勧請(神仏の分身を他の地に移してまつこと)され建立されました。秋葉山(北高峯山)には登山道が整備されており、頂上には展望台もあります。秋葉神社には氏子はいませんが、奉賛会が護持運営・管理をしています。奉賛会とは、神社が神様のために行う改修事業などを応援する会です。年間の参拝者数は約900人です。年に1回、4月の第3日曜日に例祭が行われます。また、火の神様らしく、火鎮祭が有名です。

近隣の他県にも秋葉神社があります。その中の2社をご紹介します。1社目は、高知県四万十市下田にある秋葉神社です。祭神は火之迦具土神(火産霊命)ほか2柱です。迦具土は、記紀神話における火の神で、『古事記』では「火之夜藝速男神」「火之炫毘古神」などと表記されています。また『日本書紀』では、「軻遇突智」「火産霊」などと表記されています。2社目は、広島県福山市新市町にある秋葉神社です。こちらは吉備津神社の中に祀られています。(井上)



秋葉神社 (岡山県総社市)

遠州の地から、清流の町へ 秋葉神社 (高知県吾川郡仁淀川町別枝)

今から800年前、屋島の戦いに敗れた平氏の一族が、安徳天皇を奉じて四国に逃れ、仁淀村別枝の「都」に落ち延びました。当時、源氏の追討に備えた見張り番役の一人、常陸国筑波城主佐藤清岩が遠州(静岡県)秋葉山からご神体(火産霊命:ほぶすなのみこと)を勧請しました。当初は岩屋という地区の大岩の下に祀られていましたが、何度も不思議なことが起こるので、本村という地区の法泉寺に遷されました。そこでも神の祟りが多く、次に岩屋地区の市川家(旧関所番)に祀られました。その後、別枝郷の人々から氏神として奉祀したいとの申し出があり、今から約200年前、現在の別枝本村に秋葉神社が建立されました。現在、年間参拝客は6000人から7000人ほどで、2月11日の春大祭時に集中しています。

こちらの神社には、土佐三大祭りの一つに数えられる「秋葉祭り」があり、高知県保護無形民俗文化財に指定されています。人々は火消しの装束を身につけて参加します。本村、霧之窪、沢渡という旧仁淀村の別枝地区にある三集落からそれぞれ行列が出て、岩屋神社から秋葉神社まで、半日かけてゆかりの地を練り歩きます。クライマックスは、長さ7m、重さ8キロにもなる鳥毛を10m近く離れた2人が投げ合う「鳥毛ひねり」です。現在、この地域一帯は過疎化や高齢化の影響で人口減少が進んでいますが、この祭りが地域と人々を結びつけています。(田中)



日本の最南端で火事を防ぐ 秋葉神社 (沖縄県島尻郡南大東村字南)

南大東島は、沖縄本島から約400km東に位置する島です。近年、飛行機で気軽に訪れることが可能になり、豊かな自然を生かした観光地としても注目されています。この島の観音山の反対方向、秋葉山の上に秋葉大明神の祠があります。大正15年1月、江島龍雄さんの寄進により建立されました。火災防難の神として、毎年11月16日に祭礼が行われています。(藤牧)



全国秋葉新聞

西日本 沖縄 編

3年生

- 井上璃々果
- 越野 諒
- 田中 彪雅
- 藤牧 海斗